

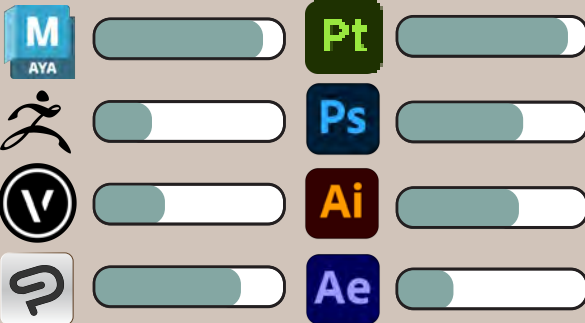
Profile

～ものづくりと共に歩んだ人生～



宮地 遼也

MIYACHI RYOYA

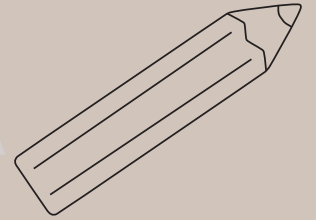


1998.03 愛知県名古屋市緑区生まれ

2001.04～2013.03 瀬戸市立道泉小学校 / 本山中学校 (現在は共に廃校)

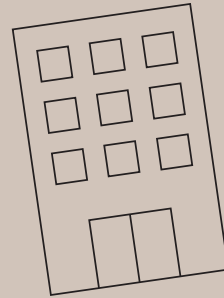
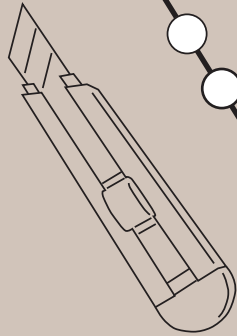
観察眼に繋がる多くの経験

- ・珠算 - **初段** (全国珠算連盟) ・剣道 - **初段** / 県大会出場
- ・書道 - **準初段** (創玄書道会) ・ピアノ - **市内コンクール合唱伴奏**
- ・焼き物コンクール6年連続学校代表選出
- ・野球・剣道・陸上・テニス・バレー部に真剣に取り組み、
ほぼ全てでレギュラーを勝ち取る



2013.04～2017.03 愛知県立旭野高等学校 / 河合塾千種校 (親が建築士であった影響で建築家を目指す)

2017.04～2022.09 千葉大学工学部建築学コース / 千葉大学大学院融合理工学府 建築学コース



建築空間について深く学ぶ

- ・日本建築学会関東支部第22回提案競技
「日本遺産大谷の持続可能な地域づくり」 **最優秀賞**
- ・建築模型課題の全てで**学年1位**の評価を得る
- ・建築サークル CUAD に所属 (インスタレーション製作)

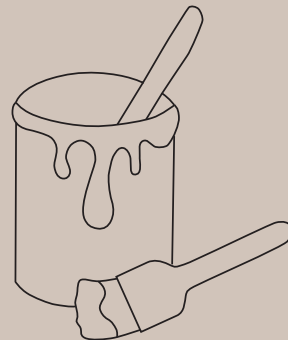
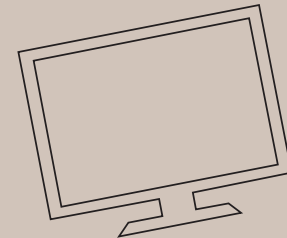
★ 仮想の空間を創る 3DCG 業界に興味に移る

2023.04～ 名古屋デザイナー学院 ゲーム・CG 学科 3DCG デザイン専攻

作品が観られる喜びを知る

絵の勉強の為に漫画を描き始める

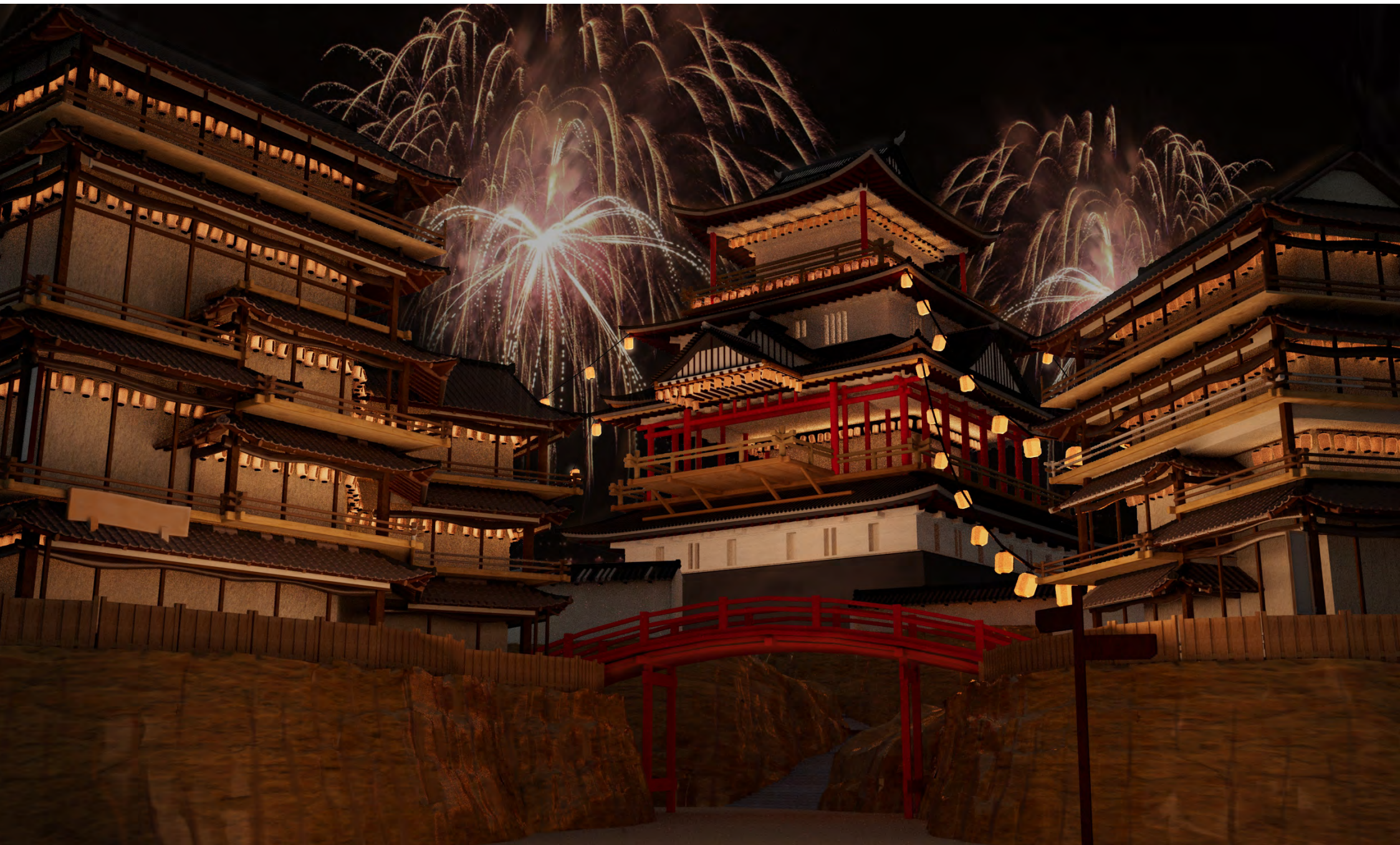
- ・**有料コミッション依頼**を複数回受ける
- ・合同誌に誘われ同人誌即売会に参加

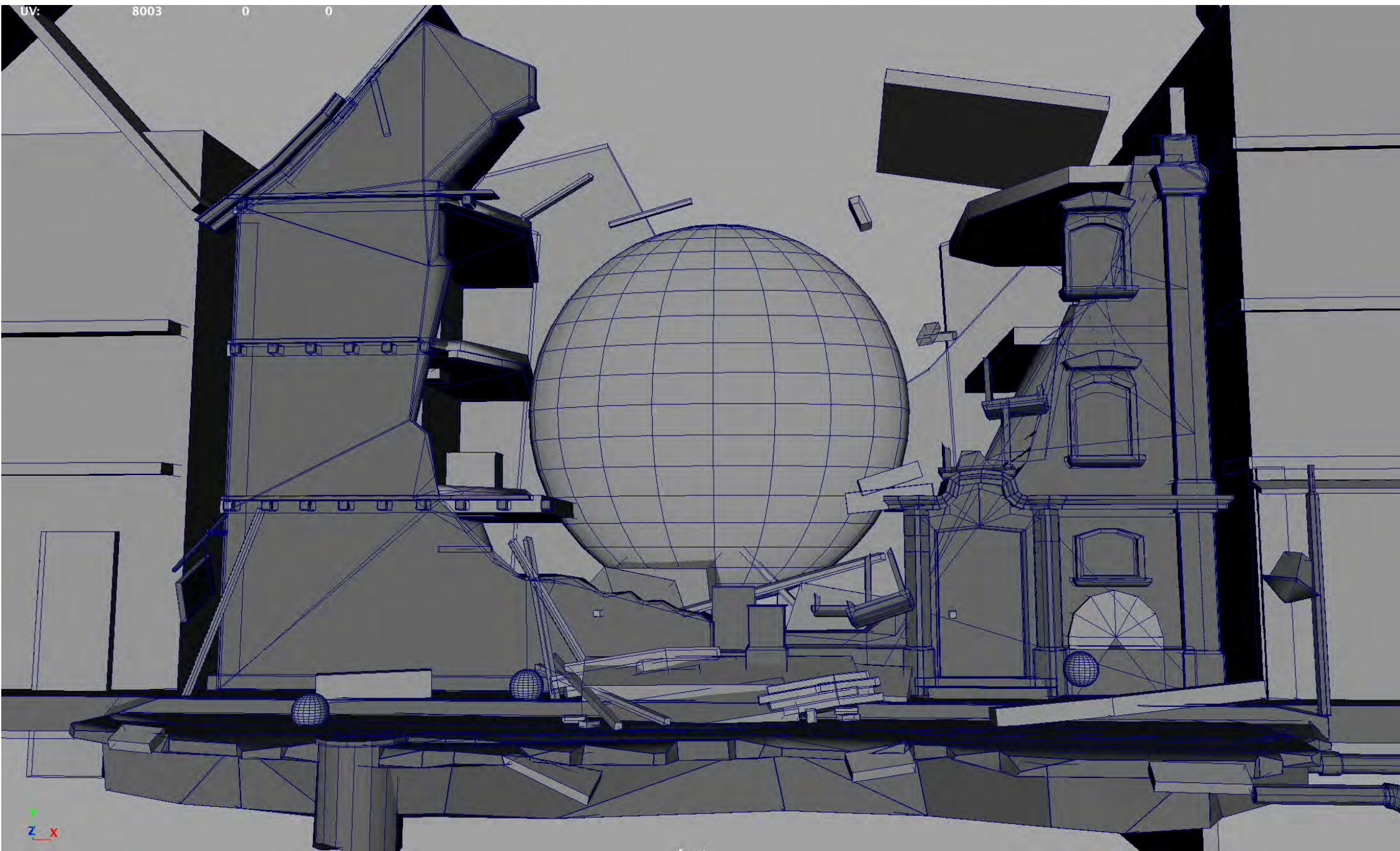


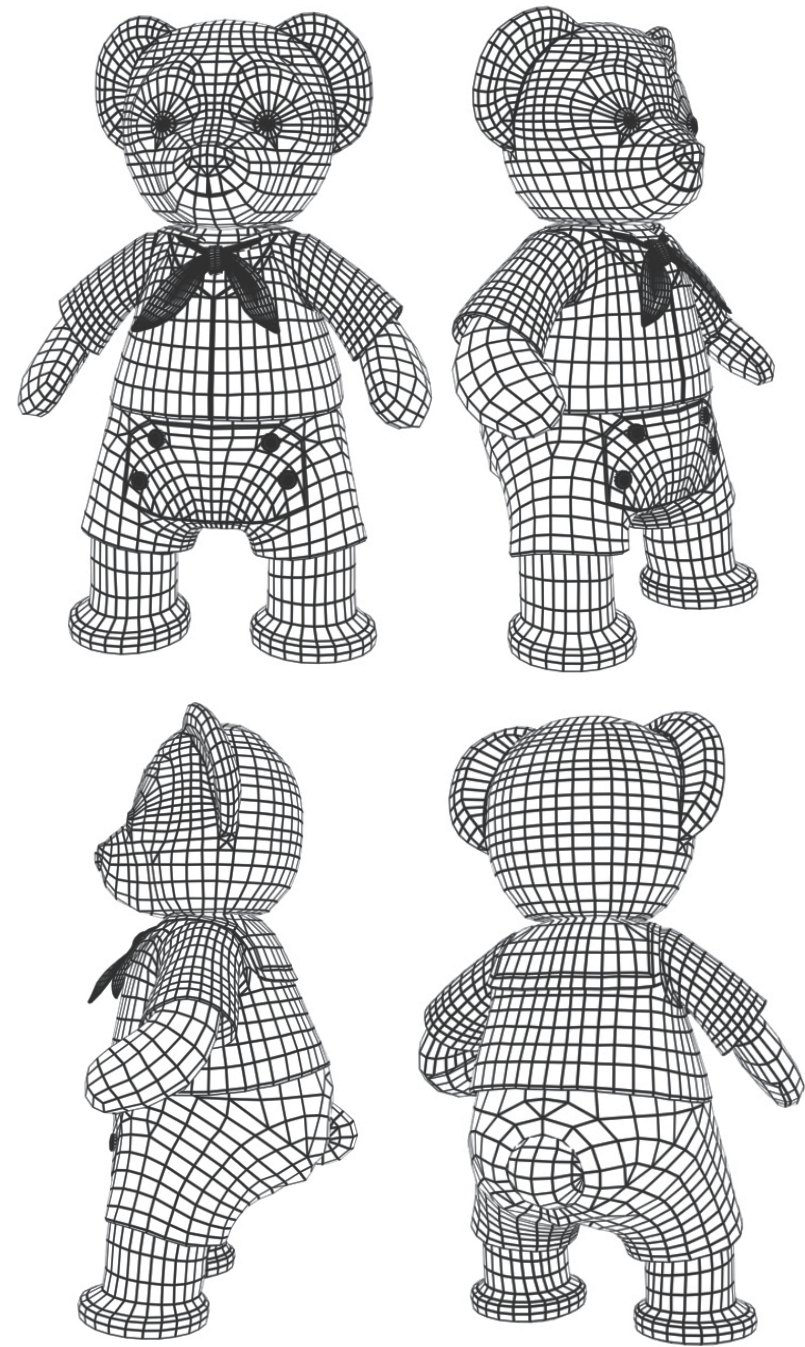
現在 一流の3Dモデラーになるために勉強中！！

祭城

2023.09. 夏季休暇課題 90 時間 /1000000 ポリゴン



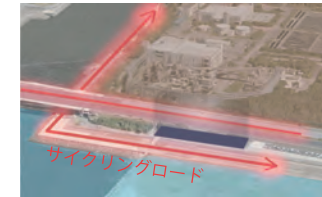






「忙しい日常にキャンプを」をコンセプトに都内の住宅地でもキャンプの様な心躍る生活を出来ることを目指して設計した。

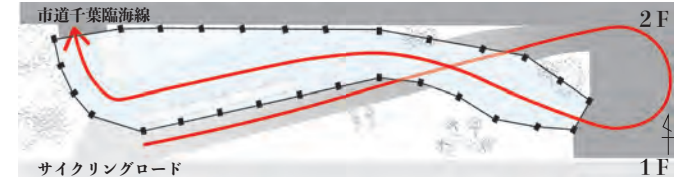
01. 海と陸の結節点



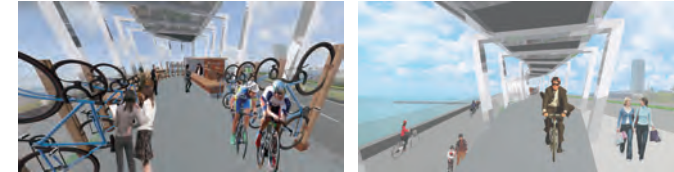
02. 上を向く



03. 陸海空を交える橋



04. 自転車との共生



人間は辛くなると空を向く、その視線の先にある施設となるような施設を目指した。加えて、海と陸そして空を繋ぐ架け橋となる休憩施設となるようにデザインした。

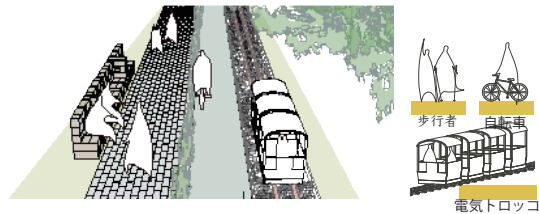


01. 2つの採石産業軌道



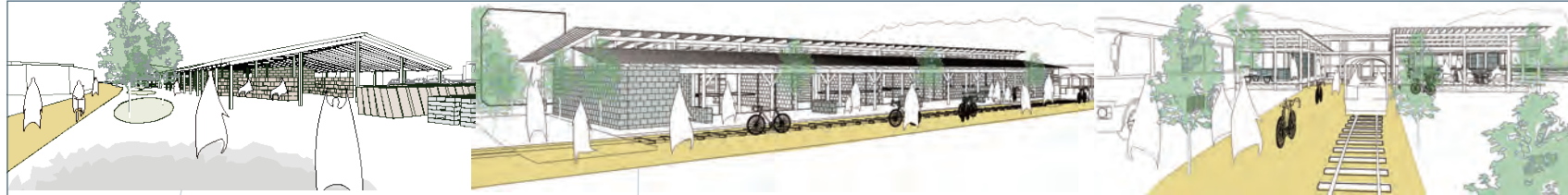
明治時代から積み上げてきた大谷産業の発展には2つの石材輸送の鉄道軌道が大きく貢献してきた。

02. スローな動線による再生

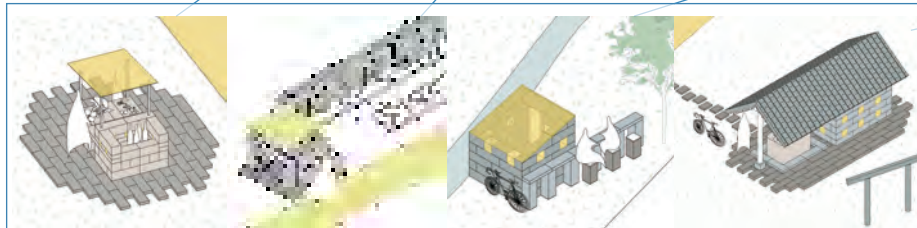


大谷資料館など観光地となり騒がしくなった西側に対して、東側をスローモビリティによって再生する。

03. 3つのプロジェクト



Project 1 旧駅の再生：大谷軽便線の駅跡地は現在公園などの空地となっている。この土地に、新たに整備する道の乗り換えステーションと農産物のマーケット、バスステーションと待合いカフェのそれぞれ機能を持った3つの交通拠点として再生する。



Project 3 ポンプ小屋の利用：提案ルート沿いに点在する農業用ポンプ小屋を利用し、約300mおきに休憩できる点景として7つ整備する。



Project 2 積み出し作業所の更新：かつて石を積み出していた作業所をヒトの為の居場所へと再生する。

敷地・課題背景：栃木県宇都宮市の大谷地区・明治時代以前から有名であった建材である大谷石の採掘場があることが有名である。この町が持続可能な地域づくりとしてやれることは何かというテーマのコンペに対して提案した。
コンセプト：“石の産業と文化の時間の重なり”による「時層」としての場所性が魅力です。私たちは、この「時層」を構成し、これらの点をつなぐ、大谷石を運搬した採石産業軌道に着目します。大谷街道にはその昔トロッコ軌道が敷かれ、大谷石が運搬されていました。特に、大谷街道から分岐する瓦作街道に沿って、かつては、荒針駅（現 農協付近）、瓦作駅（現 瓦作公園）、立岩駅（現 立岩児童公園）があり、廃線跡の小径が現存します。私たちは、この軌道を再生し、新たなゆっくりした交通としての、電気トロッコや、自転車、歩行者が通り、沿線に人々が集う、「懐かしい未来の道」を提案します。

その他作品

01. インスタレーション作品

所属していた建築サークルでは大学祭で写真の様な空間の展示の為に一致団結してコンセプト会議、材料の調達、工法のスタディを行った。



02. 建築模型作品

大学での建築模型作品を通して伝え方の表現を強く追求した。その表現が評価され、模型課題の全てで学年で1番の評価を得て、2年に渡り後輩のお手本にされた。



03. 同人漫画作品

専門学校入学前、画力が需要だと説かれ漫画を描き始める。ターゲットのツボにハマる漫画を描いたことにより有償依頼や応援のDMを複数頂いた。



※主に R-18 作品を描いているので載せられるページを抜粋して掲載

04. 粘土造形作品

専門学校の授業内で作成した粘土作品。何度も自分の手を確認しながら近づけるように作成した。キャラクターの胸像は製作途中。

